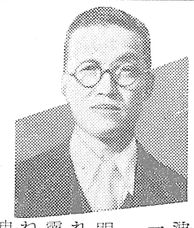
礫陵新聞

発行所　若松高校新聞部
福岡県若松市小石
発行人　日並勇雄
編集人　海原茂雄
印刷所　吉田印刷所

年頭所感



無用の卑屈を排して世界に習え

「不死鳥」になつて雄飛を

学校長　加来均

今年は珍しく明るい正月であつた。年末から年始にかけて快晴が続き、若に流れる人の浪も明るさを添えたことは勿論だが、何と云つても人々を心から明朗にしたのは、長い間モヤモヤしていた日本の前途が漸く明るくなつて来たことに対する安堵感と云つた様なものが原因であつたと思う。対ソ国交も曲りなりにも締結出来たし、待望久しかつた国際連合にも第八十番目とは云え全会一致で迎え入れて貰えたし、内閣までが代つて気分が一新したのにかてゝ加えて「神武以来」とやら冗談も出る位の好景気の中に新しい年を迎えたとあつては誰しも明朗になるのが当然だとも云えそうだ。

これは考えてみると全く驚くべきことである。十年以前誰がこの明るさを予想し得たろうか。敗戦に打ちひしがれた日本は兎も角「生きる」ことだけに必死であつた食うことの前には理想も終の頃も無かつた。その日本が十年で此処まで立ち直つたのだから驚嘆措きを得ない。

十年一昔と云うが日本の近代史も十年を区切りに変化が目立つ様に思う。樹木に年輪があるように国力にも波がある。縮む十年、それから伸びる十年。――これが昔は繰返されていたと考えてもゝ。科学が進歩して来るにつれて消長の波動が短くなつたのだと云つたら一番当つかも知れない。

日本の近代史が明治維新から夜明けに入ることは常識である。それが十年毎の浪に乗つて日清・日露・第一次世界大戦と背伸びを重ねて来て、調子に乗つてもう一つ背伸びをやろうとして屏餅をついたのが今度の大戦である。戦中の十年も苦しかつたが戦後の十年は骨にこたえた。気の早い者は日本は滅びたと考えた。

今日の十年は、ツクスがこれからの方向に飛ぼうとするかと問題である。端的に云えば日本はもう一つの坂を上りつめて今峠に立つた所であるこれからどの途を選ぶかと云うことによつて十年後の日本の運命を決定する。

明るい今年の正月は、日本が国際社会の一員として新しい船出をする記念すべき祝日でもある。

メイフラワー号に乗つて新大陸に上つた清教徒達は開拓者魂に支えられて西へ西へと国を拓いて遂に今日のアメリカを築いた。

明治の青年はクラーク先生の「ボーイス、ビー、アンビシヤス」の言葉に導かれて西洋文明に追い着き追い抜こうと努力した。

昭和三十二年の年頭に当り、「吾々日本人は何を為すべきか」をお互十分に考えてみたいと思う。世界が吾々日本人に期待するものは吾々が想像しているよりも遥かに大きなものがあると考えてよい現にアメリカは駐日大使に外交官として第一級のダグラス、マツアーサー二世を任命したのに対しソ連では副首相のテヴオーシヤンと云う大物を送つてよこすことになつている。

吾々は已惚れてはいけないけれど無用に卑屈になることも禁物である。吾々に与えられた正当な位置について吾々の果さなければならぬ仕事は思い切つて実行する覚悟が必要である。

世界は今急激に変ろうとしつゝある。十年後を考えてみても原子力の発達は世界を現在の何十分の一に縮めて了うであろうし、戦争などはやろうにもやれない福祉学の進歩した時代が展開されている筈である。

吾々日本人に期待するものは遥かに大きなものがあると考えてよい現にアメリカは駐日大使に外交官として第一級のダグラス、マツアーサー二世を任命したのに対しソ連では副首相のテヴオーシヤンと云う大物を送つてよこすことになつている。

吾々は已惚れてはいけないけれど無用に卑屈になることも禁物である。吾々に与えられた正当な位置について吾々の果さなければならぬ仕事は思い切つて実行する覚悟が必要である。

世界は今急激に変ろうとしつゝある。十年後を考えてみても原子力の発達は世界を現在の何十分の一に縮めて了うであろうし、戦争などはやろうにもやれない福祉学の進歩した時代が展開されている筈である。

事実日本人である吾々が見ても恥ずかしいと思う様な事が次々と起つた然しこの十年は日本が立ち直る為には本当に一番大事な時間であつたことが今になつてはつきりわかる。

西洋に「不死鳥」の話がある。この鳥は老いて来ると自らの体を焼いてその灰の中から新たに生れ返されていたと考えてもゝ。科学が進歩して来るにつれて消長の事は許されそうだ。

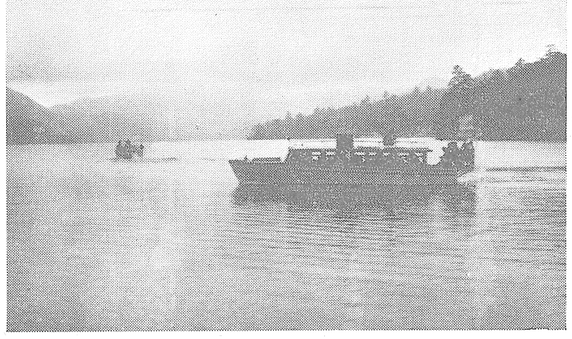
これは考えてみると全く驚くべきことである。十年以前誰がこの明るさを予想し得たろうか。敗戦に打ちひしがれた日本は兎も角「生きる」ことだけに必死であつた食うことの前には理想も終の頃も無かつた。その日本が十年で此処まで立ち直つたのだから驚嘆措きを得ない。

十年一昔と云うが日本の近代史も十年を区切りに変化が目立つ様に思う。樹木に年輪があるように国力にも波がある。縮む十年、それから伸びる十年。――これが昔は繰返されていたと考えてもゝ。科学が進歩して来るにつれて消長の事は許されそうだ。

今年は珍しく明るい正月であつた。年末から年始にかけて快晴が続き、若に流れる人の浪も明るさを添えたことは勿論だが、何と云つても人々を心から明朗にしたのは、長い間モヤモヤしていた日本の前途が漸く明るくなつて来たことに対する安堵感と云つた様なものが原因であつたと思う。対ソ国交も曲りなりにも締結出来たし、待望久しかつた国際連合にも第八十番目とは云え全会一致で迎え入れて貰えたし、内閣までが代つて気分が一新したのにかてゝ加えて「神武以来」とやら冗談も出る位の好景気の中に新しい年を迎えたとあつては誰しも明朗になるのが当然だとも云えそうだ。

これは考えてみると全く驚くべきことである。十年以前誰がこの明るさを予想し得たろうか。敗戦に打ちひしがれた日本は兎も角「生きる」ことだけに必死であつた食うことの前には理想も終の頃も無かつた。その日本が十年で此処まで立ち直つたのだから驚嘆措きを得ない。

十年一昔と云うが日本の近代史も十年を区切りに変化が目立つ様に思う。樹木に年輪があるように国力にも波がある。縮む十年、それから伸びる十年。――これが昔は繰返されていたと考えてもゝ。科学が進歩して来るにつれて消長の事は許されそうだ。



(湖寺禅中は印真写)

修学旅行をおえて

明年度の旅行のために

関係者の声

職員から　交通事故にびくびく

若松駅に着いたとの列車事故がおこつている。国鉄当局に安全輸送を懇望すると共に生徒諸君にも乗物の注意を一層励行して貰いたい。例えばデツキに立つこと、飛び乗り飛び降りは絶対に止めて貰いたい。

今年も昨年同様臨時列車を利用したが、乗車がスムースで無駄なた。規律厳しく良好であつた。

若松、京都、東京各駅の集合時刻は厳守されたし、旅館に後れるものもなかつたし、旅館の食事や車中の弁当が不足することもなく、不愉快な目を見ずに済んだ。

旅行中から帰校後にかけて流感に悩つたものが多数あつた事は気の毒であつた。その関係と思うが期末考査の成績が大変悪かつた。

それにつけても日頃からもつと体を鍛錬して体力を養つておく必要があると思う。

ともあれ、生徒諸君にはよい思い出となつたことと思う。

終りにこの旅行のため尽力して下さつた学校当局はもとより父兄旅行会輸送関係等各位の有形無形の御援助に対して深甚の謝意を表する次第である。

生徒から　実施の時期が疑問

旅行の時期について、毎年問題になり、むつかしい課題であり、且つ重要な事である。何故なら我々高等学校にとつて、一週間に近い日時を割いて旅行している時のみが修学旅行ではなかろうか、それらすべてを含んだ意味に於ての旅行の日立物物館、美術館等の所在地、入場料見学可能の時間等を調べ入れたものが事前の注意事項を与えられたものの結果はよくあるまいと思つた。

同三十日に行われた新協劇団による芸術劇「ネクラソフ」は好評裡に終了した。本校は近年に、修学旅行のすべてではないからである。行く前の準備、帰つてからの反省これらは修学旅行の重要な部分ではなかろうか、それらすべてを含んだ意味に於ての旅行の日立物物館、美術館等の所在地、入

目立つ大手筋の求人増加

内定者は50名（1月12日現在）

全滅三割で求人増帳消し

本年度就職状況の回顧と展望

業科の優遇が明らかで、この問題は将来本校受験生の問題として注目されるであろう。

以上昨年中の目立つ点を回顧してみたが、さて本年度の見通しとしては、この寒流が暫くは続くものとみられるので、更に求人数の増加が考えられるし、本年卒業する者に対しても、補充採用が引続き行われることは例年の通りであろう。なお一月十日現在未決定二十二社を残している。これに対処するために生涯諸君に特に要望し皆無である点から就職における商れるのは

(1) 学力の飛躍的向上である。従来就職希望者生にまみられた「進学するには学力が不足するから就職しよう」といつた就職第二義的な考え方は根本から改められねばならない。と伝抜けて学力の秀れた者は、たとえ家庭環境その他にいろいろのマイナスの面があつても、会社としては落すことはできないであろう。

(2) 品性を陶冶すること。大学進学は学力一本やりの勝負だが、就職は学力と品性の総合的競争である。それだけに日頃よく自己を省みて明朗で健全な生徒になるよう心掛ける必要である。これは生徒自ら実行するより外に道はないわけで、先生方の指導助言も大事だが、生徒各々があまりついて行かなかつた、我校生徒会の中で、どうにかまとまりをつけてやつて来た事である。そして遠足、真夏の太陽の下での水泳訓練、夏期講習、二学期に入つては好評を得た文化祭、高校生らしく青空一杯伸々と行つた運動会、その他あらゆる事を左右する生徒会役員改選も無事終了し前会長松尾敏弘さんは、良く指導して前年度より一段と進歩させている。ここにその功績をあげるとまず、生徒手帳を作つた事が上げられよう、これにより、生徒会の内部的構造も良く解る様になつたし、生徒心得も被既する様になつた。その他特別月立つた事はしていないが、運動会、文化祭、そのあるだろう。甚だ疑問である。そたそうだ、何しろ一週間からの時他校内の重要行事をつぎつぎと立して学校の為、生徒会の為に献身派に仕上げ、又予算作製を例年になく早く決めてしまつたのは注目に値する。何しろ役員だけ張切り生徒各々があまりついて行かなかつた。積極的に行動する様に務めなくてはならない。何でも最初が大切で一度後れると中々取返しがつかない。まず新年から張切つて良く装つている。我々の日々の活動に直接に響いて来る事であるので、この点に留意する。

今回当選された住田宏晴君は松尾さんの時よりさらに一歩向上させてくれる事を期待する。そして松尾さんが云われていた様に、役員は全員会長に良く協力し、又、総務は生徒会に出席する前に良く組織改選も無事終了し意見を聞いていて、自分又は組の意見を主張する事は、常々且つ活発に意見を述べ、又戦わせるべきである。折角出席しながら組一年生諸君は生徒会には無関心のごとく装つている。我々の日々の活動に直接に響いて来る事であるので、この点に留意する。まず新年から張切つて良く指導して行く様に念願する。

次にあつた主な行事はマラソン大会である。小雨降る悪天候にも拘らず新記録が出来た事は非常な喜びであつたと思う。この際には隣上部で毎日練習した努力の結晶や適性に欠けている者が相当数おるということで、求人数の三割増という好条件を顧慮しにしている。よく合格したと思われるであろう。このことは同時に求人増加は必ずしも就職増加を意味しないで、むしろ競争の激化を招き、従つて会社の生徒に対する要求の高度化を意味するもので、求人増加のみを手放しで喜びこれに対する対策を忘れてはならないということを教えている。

一番いけないのは旅行から帰つたとたんに、即来試験である。折角旅行の話を聞かうかと思うけれども子供の方は机に向つて勉強しなければならなくなつた。結構行きもしなかつた私達の方で御土産の残りの菓子をつまみながら、清水寺はどうであつたしらと根掘葉掘をしなければならなかつたりして喜びこれに対する対策を忘れてはならないということを教えている。

何も、都会の方のまねをするわけではないが、自分たちは会員の一人であるという自覚を持ち、我々の代表たる総務を項点として力をもり上げ、その上に立つた委員会という上部機構に向つて協力しいつまでたつても地方の政治の関心が高まらないであろう。

何も、都会の方のまねをするわけではないが、自分たちは会員の一人であるという自覚を持ち、我々の代表たる総務を項点として力をもり上げ、その上に立つた委員会という上部機構に向つて協力しよう。

さいわい今回の生徒会長は、適任のように思われる。

今後を期待したい。

(H)

一論説一

新年を迎えて新たな気分で張切つている時に、昨年の行事を一つ一つ吟味して行こう。まず乱漏たる校の下を一年生が入学して来た事。そして遠足、真夏の太陽の下での水泳訓練、夏期講習、二学期に入つては好評を得た文化祭、高校生らしく青空一杯伸々と行つた運動会、その他あらゆる事を左右する生徒会役員改選も無事終了し前会長松尾敏弘さんは、良く指導して前年度より一段と進歩させている。ここにその功績をあげるとまず、生徒手帳を作つた事が上げられよう、これにより、生徒会の内部的構造も良く解る様になつたし、生徒心得も被既する様になつた。その他特別月立つた事はしていないが、運動会、文化祭、そのあるだろう。甚だ疑問である。そたそうだ、何しろ一週間からの時他校内の重要行事をつぎつぎと立して学校の為、生徒会の為に献身

本年度大学進学志望校決る

國立をめざす　延人員　一五〇名

私立は文科が圧倒的

一九五三（第一表）全国大学数年の新春を迎え、進学志望の諸君が一年有数の春には鶴首して待つているとはいケ年の努力の結果へ、浪人組の現今一方的な増加を考慮すると、現役組から合格の栄冠をかち得るためには絶対一線時期では、断じてない。ホツプ・ステツプ・ジヤンプという言葉がある、一月といえば受験界に於いては、まさにジヤンプにさしかゝつた時期である、正月の祝福にうきうきする御機嫌でいる場合ではない。ホツプ・ステツプに悔いはなかつただろうか、再度の試みは許されないのだ受験生諸君が、この極めて意義ある時期を、十二分に自覚されて一層の拍車をかけて猛勉されているか、真剣味が加わつているか、姿は皆高である、志望校最終的決定の時期も既に過ぎ、若干各種の事情によつて決し兼ねている傾向もあるが、大多数のものが一応その決定をみたのでここに紹介しよう。

下表により私見で恐縮するが（一）文科・理科の志望別を第一志望者の中より調査すると、国立、文五四名、理三九名公立、文一六名、理二名私立、文三六名理四名となつており、国立大においては文科系が圧倒的である。

（二）国立系志望者数は受験者総数一六一名中九三名で過半数であるが前年、長崎大広島大に著しい増加を示している。

（三）東京外大、大阪外大、神戸外大、津田塾大志望者が例年になく、その姿を現わしている、後多少の変更は免れないであろう。

（四）女子受験者は二十九名であり、昨年は看護婦関係の学校志望者が多数いたようであるが、今年度は国立公立短期大に集中し、各種学校の志望者が少ない。

聚するに北は北海道大学から南は鹿児島大学に到るまで視野を広くして各自が選定しているが、今後多少の変更は免れないであろう。

（第二表）　志望校調査　（昭和三十一年十一月一日現在）　{男132　女29　計161名}

志望別		第一志望	第一志望	第二志望	第二志望	第三志望	第三志望	計	計	女	男
国立	東京大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	93	14	79	
	東京外大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	45	3	42	
	京都大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	22	1	11	
	大阪大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	150	18	132	
公立	東京都立大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	18	6	12	
	奈良女子大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	13	5	8	
	広島大学（第二志望のみ）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	9	2	7	
	九州大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	40	3	27	13
私立	慶応大学（第二志望のみ）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	40	3	37	
	早稲田大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	52	5	47	
	明治大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	30	2	28	
	中央大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	122	10	112	
	日本体育大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	4	0	
	同志社大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	8	7	1	
	西南学院大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	2	0	
	久留米大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	14	13	1	
	関西大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	6	2	4	
短期大学	日本女子体育短大	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	1	1	
	水産講習所	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	0	2	
	防衛大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	0	2	
各種学校		〃	〃	〃	〃	〃	〃	8	3	5	

受験生諸君へ

森元哲郎　指導進学委員

一九五三年の新春を迎え、進学志望の諸君が一年有数の春には鶴首して待つているとはいケ年の努力の結果へ、浪人組の現今一方的な増加を考慮すると、現役組から合格の栄冠をかち得るためには絶対一線時期では、断じてない。ホツプ・ステツプ・ジヤンプという言葉がある、一月といえば受験界に於いては、まさにジヤンプにさしかゝつた時期である、正月の祝福にうきうきする御機嫌でいる場合ではない。ホツプ・ステツプに悔いはなかつただろうか、再度の試みは許されないのだ受験生諸君が、この極めて意義ある時期を、十二分に自覚されて一層の拍車をかけて猛勉されているか、真剣味が加わつているか、姿は皆高である、志望校最終的決定の時期も既に過ぎ、若干各種の事情によつて決し兼ねている傾向もあるが、大多数のものが一応その決定をみたのでここに紹介しよう。

下表により私見で恐縮するが（一）文科・理科の志望別を第一志望者の中より調査すると、国立、文五四名、理三九名公立、文一六名、理二名私立、文三六名理四名となつており、国立大においては文科系が圧倒的である。

（二）国立系志望者数は受験者総数一六一名中九三名で過半数であるが前年、長崎大広島大に著しい増加を示している。

（三）東京外大、大阪外大、神戸外大、津田塾大志望者が例年になく、その姿を現わしている、後多少の変更は免れないであろう。

（四）女子受験者は二十九名であり、昨年は看護婦関係の学校志望者が多数いたようであるが、今年度は国立公立短期大に集中し、各種学校の志望者が少ない。

聚するに北は北海道大学から南は鹿児島大学に到るまで視野を広くして各自が選定しているが、今後多少の変更は免れないであろう。

（第二表）　志望校調査　（昭和三十一年十一月一日現在）　{男132　女29　計161名}

志望別		第一志望	第一志望	第二志望	第二志望	第三志望	第三志望	計	計	女	男
国立	東京大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	93	14	79	
	東京外大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	45	3	42	
	京都大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	22	1	11	
	大阪大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	150	18	132	
公立	東京都立大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	18	6	12	
	奈良女子大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	13	5	8	
	広島大学（第二志望のみ）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	9	2	7	
	九州大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	40	3	27	13
私立	慶応大学（第二志望のみ）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	40	3	37	
	早稲田大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	52	5	47	
	明治大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	30	2	28	
	中央大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	122	10	112	
	日本体育大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	4	0	
	同志社大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	8	7	1	
	西南学院大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	2	0	
	久留米大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	14	13	1	
	関西大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	6	2	4	
短期大学	日本女子体育短大	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	1	1	
	水産講習所	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	0	2	
	防衛大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	0	2	
各種学校		〃	〃	〃	〃	〃	〃	8	3	5	

志望別		第一志望	第一志望	第二志望	第二志望	第三志望	第三志望	計	計	女	男
国立	東京大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	93	14	79	
	東京外大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	45	3	42	
	京都大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	22	1	11	
	大阪大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	150	18	132	
公立	東京都立大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	18	6	12	
	奈良女子大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	13	5	8	
	広島大学（第二志望のみ）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	9	2	7	
	九州大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	40	3	27	13
私立	慶応大学（第二志望のみ）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	40	3	37	
	早稲田大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	52	5	47	
	明治大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	30	2	28	
	中央大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	122	10	112	
	日本体育大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	4	0	
	同志社大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	8	7	1	
	西南学院大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	2	0	
	久留米大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	14	13	1	
	関西大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	6	2	4	
短期大学	日本女子体育短大	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	1	1	
	水産講習所	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	0	2	
	防衛大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	0	2	
各種学校		〃	〃	〃	〃	〃	〃	8	3	5	

志望別		第一志望	第一志望	第二志望	第二志望	第三志望	第三志望	計	計	女	男
国立	東京大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	93	14	79	
	東京外大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	45	3	42	
	京都大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	22	1	11	
	大阪大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	150	18	132	
公立	東京都立大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	18	6	12	
	奈良女子大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	13	5	8	
	広島大学（第二志望のみ）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	9	2	7	
	九州大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	40	3	27	13
私立	慶応大学（第二志望のみ）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	40	3	37	
	早稲田大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	52	5	47	
	明治大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	30	2	28	
	中央大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	122	10	112	
	日本体育大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	4	0	
	同志社大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	8	7	1	
	西南学院大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	2	0	
	久留米大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	14	13	1	
	関西大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	6	2	4	
短期大学	日本女子体育短大	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	1	1	
	水産講習所	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	0	2	
	防衛大学	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	0	2	
各種学校		〃	〃	〃	〃	〃	〃	8	3	5	

バイブル贈呈式

去る十一月七日、本校、北譜堂りの会員がいる。

一週りの礼拝が行われた後、会員によつて、この協会の目的が話され、最後に申し込み者、約四百名理四名となつており、国立大名に聖書が贈呈された。

この協会は、アメリカで発足したもので、現在は、日本にも、かな

高級菓司舗
坂本甘樂堂
明治町四丁目
電⑦四六七九

二月の行事予定

予餞会は六日に

△一日（金）期末、中間考査第一日、三年授業料納入、国立第一期入学願書受付開始
△二日（土）中間考査第二日
△四日　中間考査第三日
△五日　中間考査第四日
△六日（水）予餞会（於クラブ）
△七日（木）三年特別授業開始

ホームルーム主任と密接な話合いを持つてよりよい選定を持ちたいものだ。ここに昨年度の尽度をもつて今年度の合否を予測することは甚だ困難であるから割愛するが一にかゝつて今後一ケ月余の活用如何にあるのであつて一歩前進もはかない夢では断じてないのだ、思うに入学試験というものは、与えられた数枚の答案によつてのみ合否を決定する残酷極まる感もあるが、一面これほどフエアなプレイはなかろう、それは「待つた無し」の試合であり実力の世界である、醜聞厳楽にも左右されることなく只管に勉学にいそしんだもののみが勝つことの出来る世界なのである、自信をもつて臨むことが何よりも大切だ、試験前日に安眠出来る受験者が幾人いるだろうか徒らに興奮して睡眠出来ぬことにこそ、「九仞の功を一きにかく」という言葉が最大限に適応されるのだ、「冬来りなば花咲く春は遠からじ」。お互いに最善をつくそう。

父兄から　安心してやれた　日程に一工夫ほしい

若松に永く住みなさた。それからそれへと、時を忘れて語りあかすあの楽しさは試験の発表のお陰で出来なくなつた。それに風邪をひいて試験中は寝床の中で勉強していた。あれでは試験の結果はよくあるまいと思つた。

同三十日に行われた新協劇団による芸術劇「ネクラソフ」は好評裡に終了した。本校は近年に、修学旅行のすべてではないからである。行く前の準備、帰つてからの反省これらは修学旅行の重要な部分ではなかろうか、それらすべてを含んだ意味に於ての旅行の日立物物館、美術館等の所在地、入

短い期間ではあつたが、かなりの盛大な生徒会役員選挙運動の末投票率は例年よりも向上し、皆が大変まじめであつたようだ。

しかし、いくら投票率が良くても今後のかんじんの生徒会運営について無関心であれば意味がない。

昨年度の生徒会は、一般の者から見れば、今どんなことが問題になり、どういうことが論議されているか、又そういう会はあるのかないのか、ふだんの時では、それさえ疑わしい程だつた。各クラスの代表が、その都度はつきり選示されていなかつたのが、その原因でもあるが、それよりもまして、関心がなさすぎるからである。関心のないものに、分るはずがない中央方面の高校では、この生徒会活動が大変盛んで、学校生活に於ける行動、行事など、ほとんど先生の手が加わつていない。

こういうことは、社会においても言われることで、やはり地方や田舎に行くにしたがつて、政治に関心が薄い。

結局我々が、今のように学生時代に於いてそういうものに関心を持つ習慣をつけていなければ、いつまでたつても地方の政治の関心が高まらないであろう。

何も、都会の方のまねをするわけではないが、自分たちは会員の一人であるという自覚を持ち、我々の代表たる総務を項点として力をもり上げ、その上に立つた委員会という上部機構に向つて協力しよう。

さいわい今回の生徒会長は、適任のように思われる。

今後を期待したい。

営業品目
高級活版印刷・オフセット印刷
謄写版印刷・その他一般印刷
関西印刷
代表取締役　綾部強一
本社　小倉市京町八丁目
TEL ⑤四五八六―八

官庁・学校高級家具・学校机・腰掛
特別教室器具・体育器具
金子木工所
浮羽郡吉井町新馬場
代表者　金子政五郎

記念品・バツチ・旗幕・カツプ
株式会社　ヒロカネ商会
取締役社長　乙藤稔
福岡市東中州電停前
電話③1110・②1110・1091・1975

剣道具
柔道衣
精武堂
小倉市大門10
電話　⑤6829

学校・官庁の事務――用品なら　毎映前の
魚重文具店へ
若松市西新町三丁目
TEL ⑦三〇四五

一年が主力で後つぎ

寒風をついて袈裟の気合と竹刀の音がまだ薄暗い北講堂から流れて、あたりの沈黙を破る。午前七時剣道部が寒稽古をはじめたのだ。昨年全国大会、西日本大会、国体と相ついで檜舞台に進出、天下の若人尾一門司往復コースで行われる。

剣道寒稽古

吉沢会長も激励

福商を招いて対抗試合

第一日目の一月十四日は三年生が主力二十五名が激揃い、山崎、吉開両教官の指導で練習を始めたが、この日は初日とあって、体育後援会長吉沢先生がわざわざ来校、加来校長先生とともに「器用さより練習を重ねるのに進歩がある」と切々として論され、添田、原田両校舎主任の先生も顔を出され、稽古振りを観戦されると部員の稽古振りを観戦されると共に二年五組が予想以上の成績を上げたことは級の団結によるものだろうと思われ、四組一組の健闘が目立つ、なお二年の伴走の規定外は今後注意してほしい、走者の走路を妨害するから一年は来年度も頑張って良い駅伝をやってもらいたい。

稽古はまず柔軟体操から始まりのレギュラーを先頭に一年生の主将振り、切返し、懸り稽古、稽古と手際よく進められ、一時間半のちには、さしもの寒気もどこへやら、汗をとる部員の顔にはじつとり汗がにじんでみえた。

第二日目は旗日で休日だが、午前七時半集合、九時まで練習を続けたが、九時からは市内各道場の所属剣士で、学年別個人試合、道場対抗団体試合、各道場リーグ戦の三種目が行われ昨年度優勝の小石早起会が建昌寺と撰戦のすえ二連覇した。

△午後の部　ライバル福岡商業の旧人、新人十四名を迎えて、本校旧、新人対抗試合を行う。全国大会県予選、西日本大会等いづれも優勝戦で破れている関係上、本戦として極めて注目されたが新人は5―2で敗れ、旧人は5―2で圧勝した。

△午前中　本校体育後援会主催若松市剣道連盟後援の「市内少年剣道大会」が行われた。参加者は小石早起会、建昌寺、津山道場、小石早起会、建昌寺、位べて増し、学年別ムも一段と高しているが、各らしい態度で最後までがんばつた雨の中で後跳を背まで上げて、ずぶぬれで走つている敢闘に通行人、二日三日、六十三キロ六区間、折た力で上位進出が期待されている。

△午前中　本校体育後援会主催若松市剣道連盟後援の「市内少年剣道大会」が行われた。参加者は小石早起会、建昌寺、津山道場、小石早起会、建昌寺、位べて増し、学年別ムも一段と高しているが、各らしい態度で最後までがんばつた雨の中で後跳を背まで上げて、ずぶぬれで走つている敢闘に通行人、二日三日、六十三キロ六区間、折た力で上位進出が期待されている。

△午後の部　ライバル福岡商業の旧人、新人十四名を迎えて、本校旧、新人対抗試合を行う。全国大会県予選、西日本大会等いづれも優勝戦で破れている関係上、本戦として極めて注目されたが新人は5―2で敗れ、旧人は5―2で圧勝した。

△午前中　本校体育後援会主催若松市剣道連盟後援の「市内少年剣道大会」が行われた。参加者は小石早起会、建昌寺、津山道場、小石早起会、建昌寺、位べて増し、学年別ムも一段と高しているが、各らしい態度で最後までがんばつた雨の中で後跳を背まで上げて、ずぶぬれで走つている敢闘に通行人、二日三日、六十三キロ六区間、折

尾―門司往復コースで行われる。

本校陸上部は一月八日始業日と同時に早朝からトレーニングに励んでいるが、その出場者と予定時間が次のように決つた。

△一区（小倉勝山公園―黒崎間一二、八キロ）江頭常男（二ノ七）△二区（黒崎―折尾折返し一二、二キロ）小田（一ノ四）△三区（黒崎―戸畑幸町間九、二キロ）高木（二ノ三）△四区（幸町―大里東口間二二、六キロ）大山謙二（三B）△五区（大里東口―門司市役所間七、二キロ）山崎政人（三B）△六区（大里東口―小倉市役所間七、二キロ）佐藤興一（一A）、

なお出発は小倉勝山公園二〇、〇〇、アンカーのゴールは大体三、三〇くらいとみられる。

この競走のトツプ争いは常勝常盤高校に福岡農業間で行われることは必至であるが、本校は平均しに48％、特に面白い傾向として一年生では単位がとれそうになかつた点、もつとはつきりした将来の見通しを立てて後悔することの少いあるのに対し二年になるとそれは減少して就職、進学に追われるものが31％をしめていることである。当然の事と見過しにも出来る。

輝く新記録生る

小森正之君が50分21秒

昭和三十一年度校内マラソン大会は、十一月十日（土）午前九時四十分より約二時間にわたつて、万より遅れている若松にこの様な大きな劇団を呼び、上演した事は非常に珍しく且つ演劇や音楽等は他の地に喜ばせた。

この劇団は歴史古く宇野重吉、岡田英治、小沢栄等を生み出し、松本克平等を生み出し真山美保、松本克平等を生み出し、又今まで上演した中主義的傾向と白い眼で見られるのは、創作劇では「死んだ海」「芥川龍之介」「山本有三」等三年女子では「夏目漱石」「武者小路実篤」「石坂洋次郎」「芥川龍之介」等外国の作家では「ヘミングウエイ」「シェクスピア」「コナンドイル」「チエホフ」「トルストイ」等、女子は「トルストイ」「ロマンローラン」「モーバツサン」「ジイド」「ヘツセ」「ヘミングウエイ」等二年三年の一部に「石原慎太郎」を挙げているが、これは「石原ブーム」の影響かも知れない。

新協劇團を招く

サルトルのアイロニーが魅力

十一月三十日（金）飜訳劇ではロシアのゴーリの「どん底」、本校南講堂に於て午前と午後の二回新協劇団による、飜訳劇「ネクラソフ」が上演された演劇や音楽等は他の地

この劇団は歴史古く宇野重吉、岡田英治、小沢栄等を生み出し、松本克平等を生み出し真山美保、松本克平等を生み出し、又今まで上演した中主義的傾向と白い眼で見られるのは、創作劇では「死んだ海」「芥川龍之介」「山本有三」等三年女子では「夏目漱石」「武者小路実篤」「石坂洋次郎」「芥川龍之介」等外国の作家では「ヘミングウエイ」「シェクスピア」「コナンドイル」「チエホフ」「トルストイ」等、女子は「トルストイ」「ロマンローラン」「モーバツサン」「ジイド」「ヘツセ」「ヘミングウエイ」等二年三年の一部に「石原慎太郎」を挙げているが、これは「石原ブーム」の影響かも知れない。

二年三組・一年四組優勝

恒例の一、二年駅伝競走

昭和三十一年度一、二年学年、学級対抗駅伝競争大会は十二月十五日畑一時出発二二・八キロのコースで二〇チーム参加の下に行なわれた。成績は別表の通りであるが一年では四組が一時間一九分五〇秒でテープを切り、二年では三組が一年より一五秒早くゴールにとびこんだ。

記録は昨年より悪い

日野先生の話　今回で第四回目を数える。本年は記録としては昨年より悪いが全般的に見ると級がよく団結しているように思われた。二年は一年より記録が悪いがこれは級編成によるもので十六、七名で一チームを編成している、二年三組の優勝は全員がよく走つていることが目につくと共に二年五組が予想以上の成績を上げたことは級の団結によるものだろうと思われる。一年にかては個人の走力の差があると思われ、一年の伴走の規定外は今後注意してほしい、走者の走路を妨害するから一年は来年度も頑張つて良い駅伝をやつてもらいたい。

二年

区順	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区
1	32							
2	29							
3	30							
4	27							
5	26							
6	25							
7	21							
8	28							
9	24							
10	22							
11	31							

順位	時間	備考
1	1.19.35	23
2	1.19.46	27
3	1.20.28	26
4	1.23.04	25
5	1.23.27	24
6	1.23.47	30 2.6B
7	1.24.20	29 2B
8	1.25.52	21
9	1.26.34	22
10	1.27.34	28 2.A
11	1.28.10	31 2.7B

一年

区順	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区
1	19							
2	12							
3	11							
4	18							
5	13							
6	14							
7	17							
8	16							
9	15							

順位	総合時間	備考
1	1.19.50	14
2	1.20.19	11
3	1.21.36	18 A
4	1.22.01	12
5	1.22.23	17
6	1.22.38	13
7	1.22.50	16
8	1.23.13	19 B
9	1.24.57	15

各区間最高記録者

一年

順位	組	氏名	時間
1	B	佐藤	14.38
2	A	吉永	8.11
3	4	藤田	7.12
4	1	藤本	6.27
5	5	柴田	9.04
6	4	小山田	11.36
7	4	蒲地	10.11
8	1	小林	9.03

二年

順位	組	氏名	時間	距離
1	3	三角	14.42	2.7
2	4	富吉	8.25	2
3	5	木村	6.17	2.5
4	6B	富迫	7.07	2
5	4	江頭	9.23	2.7
6	7	江頭恒男	11.30	3.4
7	3	高木	9.38	3
8	4	浜崎	9.19	2

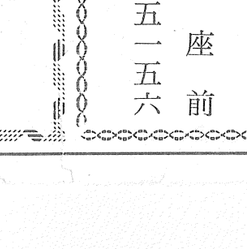
校内マラソン

輝く新記録生る

小森正之君が50分21秒

昭和三十一年度校内マラソン大会は、十一月十日（土）午前九時四十分より約二時間にわたつて、万より遅れている若松市民の生活向上の一助として若しそれだけならば卒業して習うもよし、見よう真似よう実習にも役立つ、又本校生の家庭から先ず掴つて家庭生活を基盤とし、常に現在の生活を再検討することによつて、より良い民主的な家族関係、よりよい合理的な家庭生活を私達のものとするために自覚であり、そのための技術と理論であり又技術を通して新しい生活は産み出されていかねばならない。そう考えると家庭科のむつかしさを痛感しこそすれ軽視することは出来ない苦である私達教師ももつとこの教科を魅力のあるものにせねばならないと思う。と同時に必要なものであるならば学び易い状態というものもお互に育てて行きたい。学校は教師部屋の真上まで降りて来た。はつと名づけた濃色の花や、「千代鶴として息を呑んでいる高太郎の眼」と名づけた白色の花や、「石橋の前で、その雲の一端がするすると階段のように延びて眼下の掃刷ずの見事なものも出来たが、少年の日夢に見たあの幻の花の気品はその花に見い出すことが出来た。そして始めて心の安らぐのを覚えた。

この名花は一面水郷のたゆとう水色の花菖蒲と化して了つた時、五照りに映ゆる情趣を隠ぼせる所か彩の雲もきざはしも空に吸われるように溶えて行つた。高太郎はこの不思議な光景にしばらくは魂を奪われて茫然としていたが、掃刷の中にかすかにゆらめいている花菖蒲の余りにも気品ある美しさに思わず感嘆の叫び声をあげた。そうに神籠園にさまよい入り、目もくらみ魂もそぞろになる程の芳香の自からの声の高さにはつと高太郎は、「夏目漱石」「石原慎太郎」「芥川龍之介」等外国の作家では「トルストイ」「ドストエフスキー」「ヘツセ」「ヘミングウエイ」「ジイド」「モーバツサン」「ロマンローラン」等。



家庭科調査から

目先に追われる――将来の設計が大切

小林先生の話　家庭科は手先き仕事だけではないということ。

先ず「家庭科を現在学んでいる者の数」は各学年女生徒数に対して一年生百％、二年生56％、三年生53％で、三三年の選択になると半減している。

次に「現在最も力を入れて勉強している教科」では英、社、数、国の順で専らこれら四科目に傾むき、興味があり将来とする理由が履習後に始めてその価値が認められているということになる。この点、もつとはつきりした将来の見通しを立てて後悔することの少い選択がなされて欲しいと思う。

さらに生活環境として収入状態を考慮じられない

(4) 家庭科が本当にどんな教科

(五) 図書館の雑誌では何れを主に読むかでは、全学年を通じて学生週報と高校時代実習時代が一番多く、女子が新女苑男子の一部が「ポピュラサイエンス」となつていた。

(六) 図書館の新聞ではスポーツ新聞の愛読者が一番多く次いで「朝日」「西日本」「毎日」がこれにつぎ、英字新聞の読者は非常に少い。

(七) 購入希望図書では現在本校図書館にある書名が挙つていたが多いので、出来たら一年間に二回位は皆の力で購入出来る様にしてもらいたい。

(図書部)

読書調査から

よく讀まれた「夜と霧」

漱石はいぜん人気のトップ

先般本校生徒三百五十名に対して読書調査が行われたがその結果が次のように出た。主な特色はよく読まれた本校図書館にあるものが圧倒的に多く次が自宅で買つたものとなつている。三年になると全般的に図書館利用者が少なく自分で買つたものが多くなつているのは受験準備のための学習にいそがしいためであろう。

(一)「主にどの方法で読書しているか」では、一年二年は男女とも「社会」と次いで「自然科学」「歴史」「文学」の順であるが三年男子では「見たのは誰だ」「復活」「孤独の人」等、三年女子では、「夜と霧」「孤独の人」「新字家物語」等である。

(二)「どの種類の書物に関心をもつているか」について

一年男子は「夜と霧」「嵐」「五重塔」「三四郎」「次郎物語」等一年女子は「嵐」「友情」「赤毛のアン」「アンネの日記」「次郎物語」となつている二年男子は「夜と霧」「次郎物語」「三四郎」「社会」と次いで

(三)「最近もつとも感動を受けた書物」について

一年男子は「夜と霧」「嵐」「五重塔」「三四郎」「次郎物語」等一年女子は「嵐」「友情」「赤毛のアン」「アンネの日記」「次郎物語」となつている二年男子は「夜と霧」「次郎物語」「三四郎」「社会」と次いで

三年男子では「見たのは誰だ」「復活」「孤独の人」等、三年女子では、「夜と霧」「孤独の人」「新字家物語」等である。

(四)「好きな作家について

一年男子では「夏目漱石」「島崎藤村」「芥川龍之介」「トルストイ」「シェクスピア」「ポー」等一年女子では「武者小路実篤」「川端康成」「石坂洋次郎」「夏目漱石」「トルストイ」「シェクスピア」「トルストイ」「モーバツサン」「ヘツセ」等、二年男子では「夏目漱石」「石坂洋次郎」「芥川龍之介」「トルストイ」「シェクスピア」「ポー」等ヤング探偵団、「石坂洋次郎」「武者小路実篤」「川端康成」「夏目漱石」「トルストイ」「シェクスピア」「ヘツセ」等、二年男子では「夏目漱石」「石坂洋次郎」「芥川龍之介」「トルストイ」「シェクスピア」「ポー」等ヤングエイ」「トルストイ」「シェクスピア」「ドストエフスキー」「ロマン、ローラン」等。

文化と学生

読書感想文

紐（モツパーサン）を読んで

三年　小松幽子

モーパッサンの作品は好きである。人間をたばかりに、財布拾いの嫌疑を掛けられ、それが為に死ぬまで罪のでに人間心理をうがち、「紐きつていく、あの迫の冷れがです。紐きれがです。ほうれがその反面私はこわい空句を繰返したがら死んでいつた一人の老人の姿が胸に大きく広がつて、形容しがたい淋しさにとらでも鋭く書きつけて行かなくてもつかれてしまつた。それは一つの車にして笑い、短くなれば、一層もうすこしこの人間に寄り添えことを最後まで思いつめて死んでてやりたい。〃と思わずこう叫びをあげたい時がある。「紐」の主人公もその一人なのである。

町に市の立つ日、紐きれを拾つたばかりに、財布拾いの嫌疑を掛けられ、それが為に死ぬまで罪のでに人間心理をうがち、「紐きつていく、あの迫の冷れがです。紐きれがです。ほうれがその反面私はこわい空句を繰返したがら死んでいつた一人の老人の姿が胸に大きく広がつて、形容しがたい淋しさにとらでも鋭く書きつけて行かなくてもつかれてしまつた。それは一つの車にして笑い、短くなれば、一層もうすこしこの人間に寄り添えことを最後まで思いつめて死んでてやりたい。〃と思わずこう叫びをあげたい時がある。「紐」の主人公もその一人なのである。

私はこの物語を読んだ時、芥川しかし老人にとつて、それは真の「鼻」を思い出した。この老人（オーシュコルヌ）に対する村人の気持は、禅智内供の鼻に対する人々の心に似てるように思えたのである。

オーシュコルヌが財布を拾つたと思つている時は、その罪で彼を責める人に、老体に鞭打つよりも一層こみ入つた）を作り、バクロ沢停車所出発、七時伯耆大山駅出発。

同七日、五時一八分門司着、六地教官の好指導と山岳部員が力を時一〇分若松渡場着、解散。参加者、山地教官、二年、池田、中西

端駅、一年、岡田、冀山、二年四組部長黒野さんは、「雪の上にテントを張り雪の上で寝ることは、非常に困難であつた。あの寒さに負けず合宿を無事過した事は、山が多い外国の作家では男子「ヘミングウエイ」「トルストイ」「シェクスピア」「ドストエフスキー」「ロマン、ローラン」等。

雪の大山を行く

山岳部冬山合宿終る

去る十二月三十一日より、一月は一メートルに達する。午前中は七日迄本校山岳部は、大山に冬山合宿を行つた。その経果を発表する次の通りである。

十二月三十一日、午後八時五〇分若松渡場出発

同三十一日、午前八時二〇分米子着、バスでバクロ沢まで行き、そこでキー歩行で寒の河原に行く。

同三日、山地先着く、池田、同四、冀山、バクロ沢に迎えに行く。夜は五日振りに風呂に入る。

同四日、昨夜より降り続いた雪とは出来なかつた。

同六日、午前、バクロ沢で滑り午後荷物をまとめる。四時一五分米子着、七時伯耆大山駅出発。

同七日、五時一八分門司着、六地教官の好指導と山岳部員が力を時一〇分若松渡場着、解散。参加者、山地教官、二年、池田、中西

新春雑詠

○除夜冷えの氷の如き量かな

○掃初の映画のちらし真赤なる

○デパートの松の内なる縫の座

○国旗飛ぶ如しと山家初日の出

○無事故縄にふみ捻て事始め

○五十二の坂をお峠し年明くる

樹予

図書館便り

▽新刊紹介

世界文百科事典（十一巻）　下中彌三郎編

世界大思想全集26　ラスキ

〃　27　デカルト

日本歴史大辞典4　河出孝雄編

西洋人名辞典　岩波書店編

和歌森太郎編

雑部貞市郎編

幾何学辞典

実験化学講座一―十二

大漢和辞典　諸橋轍次著

現代日本文学全集80　大久保久雄編

古事記大成　久松潜一編

スポーツ写真文庫　各編

国訳漢文大成　経子史部

▽寄贈図書の紹介

次の方々から図書の寄贈を受けましたので、御礼を申し上げると共に紹介致します。

丸柏百貨店社長柏原華蔵氏より

☆世界教育行脚（二冊）　小原国芳著

医師柏木正一氏より

☆平均有銭（三冊）　内山嘉吉著

創作

花仙

花田文男作　小島敬三郎画

――人生は限りなく淋しい　そして空しい――

ここ水郷柳川に近い山間部東山村の、代々酒ずくりを業とする杉本家の白壁が、早月の水をうす緑に染める頃になると、本家の白壁が、早月の水をうす緑に染める頃になると、

何時でも何処へでもすぐ参ります
全日営業・配車敏速
サービス第一
東洋タクシー
TEL　二四六九・二三四八
藤木営業所　四八一〇

心暖い響き
ブラザーミシン特約店
笹原ミシン商会
本町六丁目
電　2967

帽学に学進学に入学
その他各種帽子
片山帽子専門店
丸柏前

香氣漂う
茶道具・茶器　一切
松井松綠園
本町六丁目
TEL　2649

すばらしい味
喜久屋の
お好み焼き
旭座前
電五一五六

金物百貨
大工各種工具
諸庖丁道具
道具種物具
阿部金物店
本町4丁目
TEL　3107